平成 19 年度　第６回理事会議事概要記録

開催日：平成 19 年 10 月 13 日　午前９時 30 分から正午まで
場　所：日臨技会館　第１会議室

○　出席者　　会　長：小﨑繁昭
副会長：朝山均、小沼利光、才藤純一
専務理事：高田鉄也、金子健史
常務理事：富永博夫、永井正樹、下田勝二、蒲池正次、細萱茂実、鈴木　悦、前川芳明、山城光俊、大富正壽、今村文章、
理　事：小林克已、小野　静、五内川里子、小松京子、町田幸雄、小栗孝志、鶴野和則、田中久晴、高木義弘、荻津直通、白石幸雄、下瀬洋一、上田　誠、日野浦雄之、

事務局：川原　緑、辻　和広、神山良二、田中美登里、小出　俊

（監事）：熊谷裕夫　倉地進治

○　欠席者　　中山亮一

○　次　第　　１．開　会
２．議事録確認
３．経過報告
◆　理事行動（諸会議・派遣）報告
◆　各部報告
◆　地区報告
◆　会計報告
◆　その他
４．議　題
◆　各部提案事項
◆　諸会議・派遣
◆　その他
５．連絡事項等
６．閉　会

○　議事概要

１．開　会
※　丁度上半期が終了したが、今年度の総会案の執行をよろしくお願いしたい。特に今年度は２期目であり、後がないことからもケジメをつけるようにお願いしたいという会長からの要請があった。
２．議事録確認
※　前回までの議事録は役員サイトに掲載してあり、文書にて事務局へ提出することとした。
３．経過報告

◇　監理企画調整部
＜行動報告＞

諸　会　議・派　遣	日　程		報告者	報告日
監理企画調整会議	0831	金	－	－
和歌山県技師会平成 19 年度第 10 回学術部合同研修会	0901	土	小﨑	
組織運営に関する諮問委員会	0907	土		
医療経営戦略委員会･近未来事業対策委員会合同会議	0908	土	下田	0910

国際医療技術交流財団　第４回 20 周年事業準備委員会	0910	土	小﨑	
日本輸血・細胞治療学会　懇談	0913	木	小﨑	
衛生検査所　調査指導中央委員会	0914	金	才藤	0919
千葉県技師会　法人化 20 周年記念式典	0915	土	小﨑	
第 2 回衛生検査所　専門部会	0920	木	才藤	1002
公正取引協議会　運営委員会	0926	水	五内川	0929
厚生労働省　面談	0926	水	高田	0926
公益認定セミナー＜受講＞	0927	木	金子	1002
日本自動化学会　チーム医療実践推進委員会	0928	金	細萱	1003
第 48 回東北医学検査学会　式典	0929	土	小沼	0929
第 46 回中部医学検査学会　式典	0929	土	才藤	1003

＜経過報告＞

１．９月８日、国立大学臨床検査技師教育協議会より「第 53 回（平成 19 年度）臨床検査技師国家試験問題の検討に関する報告書」を受理し、役員ｻｲﾄへ掲載した。

２．９月 21 日、エイズ予防財団より「平成 19 年度世界エイズデー」の後援依頼があり、許諾することとした。当会からは、“８地区 Joint 日臨技 Forum”への後援・協力を依頼することとした。

３．９月 26 日、JIMTEF より「創立 20 周年記念事業におけるボランティアスタッフ派遣」の依頼があり、職員３名＜川原、神山、小出＞を派遣することとした。

４．９月 27 日、税理士法人川原経営主催の「公益認定セミナー」が開催されたので、金子専務理事を受講させ、その受講資料を役員ｻｲﾄへ掲載した。

※　９月 26 日に厚生労働省へ出向いた内容について追加発言があった。血液対策課へは全国輸血研修会のお礼、健康局へは生活習慣病に関して日臨技としての参画要望と検査を実施しているのは検査技師であることから職名の挿入要望を行った。医事課へは、先に公明党へ要望した予算要求を自民党へも提出すること、更に厚生労働大臣表彰についてお願いした。また、法改正による生理検査の省令委任について引き続き調整をお願いした。厚労省としては、基本的な考え方としては包括的な明記は難しい、更に項目を一つずつ明記しなければならないが、技師会としての問題点を出しそれについて協議したいとしている。厚労省へは採血などに関する質問も出されており技師会としての問題点を出すように指示された。

※　衛生検査所調査指導中央委員会では、今後ブランチラボ施設に対してもマルテキマークを認定するとして検討しているという追加情報が出された。

※　これを認定することはブランチを認めることにもつながるため慎重を期して欲しいという意見が出された。

※　公正取引委員会に関して問題（違法）施設への文書の拘束力について質問が出されたが、会員施設にはよいが、非会員施設には文書を出すにとどまっているとの報告があった。抜本的に改革するのは困難であるという見解も示された。

◇　事務局

＜経過報告＞

５．９月度会員数実績は、継続会員 45,959 名新入会員は 3,035 名である。

※　ただし、未入金者が 1,463 名おり、引き続き理事各位の対応をお願いしたいというコメントあり。

６．９月度無料職業紹介事業実績は資料のとおりであるが、決定が１件しかなくマッチングが難しいとのことであった。

７．９月８日、全国公私病院連盟より「第 19 回国民の健康会議協賛」依頼があったので許諾することとした。

８．９月 20 日、（財）公益法人協会会員の更新手続きを行った。

９．９月 21 日、臨床検査精度管理奨励会より「生涯教育研修の共催申請」の依頼があり、許諾することとした。

10. ９月 21 日、厚生労働省より「医療事故情報収集等事業　第 10 回報告書の公表について」を受理し、ホームページへ掲載した。

11. ９月 21 日、「平成 20・21 年度　社団法人日本臨床衛生検査技師会　理事・監事候補者の推薦届出

について（依頼)」を役員推薦委員長名で都道府県技師会長へ依頼した。

◇　共済福利厚生部

＜行動報告＞

諸　会　議・派　遣	日　程		報告者	報告日
共済福利厚生部会議				
優秀演題・最優秀演題候補者選考部会	0908	土	小林	1002

＜経過報告＞

12. ９月８日、第 56 回医学検査学会の優秀演題・最優秀演題候補者選考部会を開催し、候補者選考を行った。

※　43 演題の推薦があり、その中から優秀演題を６題、最優秀演題を１題選考した。今後、表彰委員会で審査されることになる。また、会長賞、功労賞を決めねばならないが、会長賞については金井泉賞に代わる賞と判断して、理事、地区理事、都道府県会長に推薦を依頼したい。功労賞については、地区理事がまとめてあげていただきたいと考えているというコメントあり。

13.「リンクス」の加入状況は増減なしであるが、「臨床検査技師賠償責任保険」の加入状況は、13,555 名となっている。

14. ９月 28 日現在の新潟県中越沖地震義援金は、631,810 円である。尚、都道府県技師会からの送金締め切りは 10 月 15 日となっている。被害届はまだ出ていないが、半壊の会員が６人いると聞いているので早急に届を提出していただきたい。

15. ９月 20 日、（財）結核予防会より「結核研究奨励賞候補者推薦」の依頼があり、例年とおり「医学検査 10 号」に掲載し、公募することとした。

◇　財政経理部

＜経過報告＞

16. ９月主たる収支は以下のとおりである。

＜収　入＞	項　　目	額(円)
1	形態検査部門研修会　収支差額　（長崎県）	10,740
2	全国輸血研修会　テキスト代　（963 冊）	963,000
3	平成 17 年度　ＰＪ研究費　収支差額返金	679
合　　計		**974,419**

＜支　出＞	項　　目　【一般会計】	額(円)
1	メディカル&テストジャーナル（1 年間）　㈱じほう	284,130
2	平成 19 年度　(財)公益法人協会　年会費 1 口	72,000
3	データ標準化事業　㈱シスメックス	4,298,648
4	平成 19 年度　研究助成金	4,800,000
5	AED 講習会助成金（島根県）	100,000
6	生理機能検査部門研修会委託金（京都府）12 月 1 日～2 日開催予定	200,000
6	生物化学分析部門研修会委託金（東京都）12 月 1 日～2 日開催予定	200,000
合　　計		**9,954,778**

＜支　出＞	項　　目　【学会会計】	額(円)
1	第 57 回学会システム運用説明会諸費用　㈱オリンパス	287,195
2	〃　システム運用サポート費用　㈱オリンパス	404,250
合　　計		**691,445**

＜支　出＞	項　　目　【精度管理会計】	額(円)
1	平成 19 年度　総括統計表　3,550 部　㈱丸井光文社	667,800

2	シスメックス（株）　（遺伝子）	1,412,250
合　計		**2,080,050**

＜支　出＞	項　目　【出版会計】	額(円)
1	日当直者のための心電図症例集　（増刷　1,000　部）	895,650
合　計		**895,650**

◇　組織制度部

＜行動報告＞

諸　会　議・派　遣	日　程		報告者	報告日
地区担当理事連絡会議	0908	土	小野	0919

＜経過報告＞

17. ９月８日、地区担当理事連絡会議を開催し、“８地区 Joint 日臨技 Forum”についての打ち合わせを行った。

◇　情報調査部

＜経過報告＞

18. ９月のホームページ掲載状況は、以下のとおりである。

日　付	内　容
2007.9.05	移植検査部門研修会(11/17-18)
2007.9.05	生物化学分析部門研修会(7/21-22)
2007.9.05	生理機能検査部門研修会(12/1-2)
2007.9.05	第 1 回認定心電検査技師試験の実施について
2007.9.13	超音波検査技術講習会＜関連団体＞
2007.9.14	平成 18 年度決算報告書
2007.9.15	医薬品名：プラリドキシムヨウ化メチルの使用上の注意の改訂について（血糖値への影響に関する注意）
2007.9.15	血糖測定機器に係る「使用上の注意」の改訂指示等について
2007.9.15	Infectrol の新ロット取扱説明書
2007.9.16	医学検査９月号
2007.9.25	「平成 19 年度版　厚生労働白書」のご案内
2007.9.25	形態検査部門研修会(1/12-13)
2007.9.25	生物化学分析部門研修会(1/19-20)
2007.9.25	生物化学分析部門研修会(12/8-9)
2007.9.28	医療安全情報　厚労省医療事故情報収集等事業第 10 回報告書
2007.9.28	「第１回認定心電検査技師認定試験の締め切りを 10 月 10 日まで延長」案内

＜経過報告＞

19. さくらネットのレンタルサーバ・スタンダード サービス更新手続きを行った。その期間は平成 19 年 10 月 6 日より平成 20 年 10 月 31 日 となっている。

20. 養成校に対する卒業生就職状況等の調査結果は 56／72 校の回答でまとまった。

※　団塊の世代が退職しつつあり、正職員としての就職が若干増加していると思われる。センターよりも病院のほうの就職率が良いようである。国家試験の合格率は、大学より養成校のほうが若干向上しているようである。ただし、未受験もあり今後教育行政については力を入れる必要も考えられるとの追加報告があった。

※　何故大学は指定校にしないのか？という質問があった。

※　学校側から見ると、進学者（保健学部）が増加しており、国立へも入りやすくなっている。就職者にはそういう意味も含んでおり、就職が増加していることになるという学校関係者からのコメントが

あった。
※　文部科学省は大学にした場合は「指定校にしないということが基本的な考えと思う」という質問が出された。
※　よく技師会へ話が来るが、学校の問題であり技師会へ言うのは違うと思うがとの意見があった
※　大学にする際、文科省に話を聞いたが、文科省の見解は「４年生大学は保健学士をつくっているのであって、臨床検査技師をつくっているのでない。」ということである。４年生大学は国立大学が主流であり、その関係者がすることはないのかと思っている。就職については、確かに先ほど言われた病院の正規採用が多くなっているようである。昨年の全国求人数は 700 を超えているが、これには正規だけでなく全て入っているため正確な割合は分からないが、正規が増えてきていることは実感しているという学校関係者のコメントがあった。
※　技師会で健康管理士などを進めて欲しいと言われるが、カリキュラムにもないものを進めるわけには行かないので、教育もきちんとして欲しいという意見が出された。
※　今、売り手市場という話しが出たと思うけれど、地方では求人は０であり中央がそのような意識では困ると言われる。認定資格をとってからでないと就職が出来ないようである。
※　国家資格だけでは通用せず、認定などの資格をもつ者が条件のところもあるという意見が出された。
※　当会の無料職業紹介でも求人の条件に○○の出来る人などとあるが、卒業したばかりの者にそれが出来るわけもない。そのため、人財育成をはじめたので･･･数年かかるとうまく行くかも知れないとの意見も出された。
※　また、アンケートの結果によるとパート職員の労働時間が正規職員と大差がない結果となっており、今後問題となる事項とも考えられるという意見が出された。

◇　精度保障事業部

＜行動報告＞

諸　会　議・派　遣	日　程		報告者	報告日
平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金　新興・再興感染症研究事業　薬剤耐性菌等に関する研究班　中間報告会	0908	土	郡	0910
精度管理調査部会 生理 WG 会議	0914	金	高橋	0926
日医臨床検査精度管理検討委員会小委員会（第３回）	0920	木	細萱	0924
精度管理調査部会 一般 WG 会議	0923	日	佐々木	0929
精度管理調査部会 臨床化学 WG 会議	0926	水	岡田	

＜経過報告＞

21．９月 11 日、平成 19 年度日臨技臨床検査精度管理調査二次サーベイの試料を 89 施設に発送した。
※　この 89 施設に何か傾向はあるかとの質問が出たが、特に無しとのことであった。

◇　教育研修事業部

ナシ

◇　学会・出版事業部

＜行動報告＞

諸　会　議・派　遣	日　程		報告者	報告日
学会・出版事業部会議				
図書発刊企画委員会	0908	土	町田	0909
「新輸血検査の実際」発刊ＷＧ会議	0908	土	蒲池	0911

＜経過報告＞

22．10 月４日、第 57 回学会展示発表会出展社募集依頼（要綱）を関係 305 社に発送した。
23．第 57 回日本医学検査学会（北海道）及び第 58 回日本医学検査学会（神奈川県）の総合管理社を東広社として契約を交わした。

◇　認定事業部＜日臨技認定センター＞

＜行動報告＞

諸　会　議・派　遣	日　程		報告者	報告日
認定事業部会議				
認定一般検査技師認定部会・試験ワーキンググループ会議	0908	土	滝	0920
第 7 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2007 in 横浜	0915 -16	土 日	高木	0924
CRC 連絡協議会世話人会	0915	土	高木	0916
CRC 認定制度試験委員会	0916	日	今村	1002
平成 19 年度第 2 回(通算 10 回)POC 推進委員会	0927	木	高木	0928

◇　人財育成事業部

ナシ

◇　国際事業部

＜行動報告＞

諸　会　議・派　遣	日　程		報告者	報告日
国際事業部会議				
国際事業推進企画委員会	0908	土	山城	1001

＜経過報告＞

24. ９月17日、大韓臨床病理士協会より、第45回大韓臨床病理士学術大会及び日韓代表者会議の招聘文書を受理した。
25. 2008-IFBLS 学会(インド)から要請のあった「日本のシンポジスト２名」について、その募集案内を会報 JAMT に掲載した。尚、費用等は自己負担となる。
26. 第３回 JAMT-JIMTEF 国際セミナーの開催を平成 20 年 3 月 19 日（水）～22 日（土）（3 泊 4 日）とし、現在、JIMTEF 及びタイ国技師会と調整をおこなっている。応報については、11 号の会報 JAMT に概略を、詳細については 12 号に掲載することとした。
27. IFBLS 代表者会議が、9 月の 27 日から 10 月の 1 日までカナダのトロントで開催された。

※　今後時間をとって、報告を行い、病院施設を紹介するという追加報告があった。

※　会報編集担当者から、12 号、1 号は締め切りが早くなっているので注意して欲しいというコメントがあった。

◇　平成 19 年度　特別事業（１）（含予定）

所管	事　業　名	日　程		報告者	報告日
精度管理	臨床検査ﾃﾞｰﾀ共有化事業全国代表者会議	0421	土	小栗	0424
	平成 19 年度 日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会	0308	土		
国際事業	第２回 JAMT－JIMTEF 国際セミナー	0517	木		
人財育成	第１回日臨技フォーラム	0519	土		
	第２回日臨技フォーラム	0210	日		
	第１回腹部超音波ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ養成講習会	0623-24	土	鶴野	0625
	第２回腹部超音波ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ養成講習会	1110-11	土		
監理＋教育	第２回輸血業務一元化全国研修会	0909	日	高田	1001
監理＋情報	日臨技８地区 Joint フォーラム	1201	日		
監理企画	日臨技創立 55 周年記念式典	0208	金		

※　第２回全国輸血研修会の参加者は、申込 1,052 名に対し、実参加者は 971 名であり内会員は 864 名であった。参加者の内、臨床検査技師は 931 名、医師などが 24 名であった。輸血学会員は 362 名で認定技師は 172 名であった。都道府県では１県が残念ながら０人であった。また、内容についてはビデオを作製しており各都道府県へ配布し研修会などに有効利用してもらう予定であるとする報告があった。

◇　平成 19 年度　特別事業（２）（含予定）＜助成金＞　　＜10 月 13 日現在＞

都道府県 助成金額		輸血研修会 一律 40 万円	AED 講習会 一律 10 万円	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 一律 10 万円	会長を囲む夕べ		総　額
					（実施日）	助成金	
02	青森県	070720					400,000
04	宮城県	071027					400,000
07	福島県	070825					400,000
10	栃木県	071125					400,000
08	茨城県				071208		
12	埼玉県				070524	200,000	200,000
13	東京都		070829				100,000
20	岐阜県	070826					400,000
24	福井県	070603					400,000
30	和歌山県	071021	070901		070901		500,000
31	鳥取県	071123					400,000
22	島根県	070624	071202				500,000
33	岡山県		071007				100,000
35	山口県		071007				100,000
38	愛媛県	070623					400,000
39	高知県	070721					400,000
40	福岡県				070616	132,412	132412
41	佐賀県	080224					400,000
42	長崎県		070527		070512	200,000	300,000
43	熊本県	070902					400,000
45	宮崎県				071125		
46	鹿児島県	080308			070526	55,000	455,000
47	沖縄県	080316			070603		400,000
計		6,000,000	600,000	0	7 回	587,412	7,187,412

◇　地区理事報告（９月）

地　区	報告日	内　　容
北海道	1002	研修会、その他
東　北	0926	会議、研修会
関東甲信	1001	会議、研修会
中　部	0930	会議、研修会
近　畿	1003	会議、研修会
中　国	0926	特になし
四　国	0930	研修会
九　州	0928	研修会

◇　平成 19 年度　日臨技地区連絡協議会報告（予定）

地　区	開催日程・開催地				監理出席者	報告者	報告日
北海道	1	1006	土	札幌市	朝山		
	2						
東　北	1	0928		盛岡市	小沼		
	2						
関東甲信	1	0916	日	千葉市	－	五内川	0926
	2						
中　部	1	0602	土	名古屋市	－	高木	0625
	2	0928	金	大垣市		高木	0928

近　畿	1	0922	土	大阪府	小﨑	中山	1003
	2						
中　国	1	0804	土	松江市	小﨑	下瀬	0809
	2	1208	土	鳥取市			
四　国	1	0707	土	松山市	小﨑	土居	0723
	2	1026	金	高知市	金子		
九　州	1	0630	土	福岡市	－	上田	0701
	2						

◇　平成 19 年度　研修会報告（予定）

部 門	テーマ	開催日程		開催地	報告	報告日
日臨技	第６回臨床試験と CRC に関する研修会	1026-28	金	東京		
	平成 19 年度 NST 研修会	H20.0316	日	東京		
	平成 19 年度医療安全対策研修会	0125	金	東京		
	平成 19 年度 日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会	0308	土	東京		
生物化学	標準化とデータ共有化	0721－22	土	岐阜県	森下	0806
	これだけは知っておきたい生物化学分析	1201-02	土	千葉県		
	日当直のための緊急検査データの読み方	H20.0119-20	土	三重県		
	遺伝子・染色体検査の基礎から実践まで	1208-09	土	東京都		
生理機能	心臓カテーテル検査における各種モニタリングの基礎と臨床	1201－02	土	京都府		
	循環器エコー検査講習会「心エコーから血管エコーまで」	0811－12	土	宮城県	菅野	0927
形 態	尿沈渣検査の進め方・鑑別と意義	0714	土	広島県	山下	0807
	フローチャートに学ぶ血液診断	0803－04	金	長崎県	三浦	0805
	日常の細胞診業務の向上にむけて	H20.0112-13	土	徳島県		
	明日から使える医療事故防止のための病理・細胞診業務における精度管理技法（RCA 分析の実習を通して）	1006－07	土	愛知県		
感染制御	病院感染とその対策入門	0609－10	土	青森県	大塚	0625
	Immunocompromised host に対する感染症の診断と管理～臨床に役立つ感染症検査の確立～	0726－28	木	兵庫県	吉田	0808
移 植	輸血の安全とリスクマネジメント	0714－16	土	千葉県	森	0720
	成功率を高めるために、基礎から見直そう自分の技術	1117-18	土	愛知県		
	移植医療における検査技師の役割	２月予定		京都府		
総合管理	21 世紀を担う臨床検査技師実践セミナー2007＝チーム医療と経営管理の実践が医療の質に影響＝	0210－11	日	大阪府		

◇　その他

※　会史の原稿が集まっているが、関東甲信地区、東京都、神奈川県、福井県、奈良県が未だ提出されていないのでよろしくお願いしたいとの編集担当からのコメントがあった。

Ⅳ．議　題

◇　監理企画調整部

１．茨城県技師会から申請のあった「会長を囲む会」を承認した。
２．広島県,埼玉県,宮崎県の各技師会から申請のあった「AED に関する研修会」の助成を承認した。
※　東京、和歌山、島根、岡山、山口、長崎の各県しか行っていないが、公益活動でもあり進んで実施して欲しいとの意見が出された。
３．都道府県から申請のあった「日臨技公益目的事業」を承認した。
この中で、兵庫県については認めるか否かを審議していただきたいということが述べられたため、引き続き審議に入った。
＜兵庫県理事の説明＞
これは兵庫県が独自で開発しているものであり、“検査情報システム”とは、その検査は何の検査であるか、この DVD の画面をクリックして見てもらうもので、検査項目の内容はどうであるか、それから何がわかるか･･･などの情報を提供するためのものである。健康展などのイベントで見てもらう、また、病院、保健所などへ配付して活用してもらうことを考えている。検査の内容に加え、検査の仕事や検査技師がどのような仕事をしているかを PR するものである。ほぼ出来上がる状況であるが、今後、プレスをする、あるいはグレードアップする必要があると考えているのでご審議をお願いしたい。
＜質問・意見＞
※　検査に関する情報を広く国民へ PR するというものであれば、これは日臨技で行うのが良い。この事業は全て日臨技で行うという度量の広さを示しても良いのではないか。
※　予算面で、作製する枚数は･･･＜1000 枚＞であれば、1 枚 350 円となる。また、作製を委託するとすれば、日臨技で作製したほうが安いと考えられる。仮に日臨技で行うとすれば編集も担当しなければおかしいことになる。
※　この開発は兵庫県が行うべきであり、その広報・普及については日臨技が負担しても良い。
※　ICT 委員会の中でも、将来このような事業をすべきであると述べている。その情勢において「この開発は兵庫県が行うべき」との意見もふまえ、敢えて公益事業の中でする必要があるのかともいえる。
※　日臨技が作製中のビデオとは異なるが、その一環としても良いのではないか。
※　それであれば、二重の投資になるのでないか。
●　次に、試作品の試写を行い、DVD の説明を受けた。
※　その後、全体の意見を考え、この試作品を参考にして「日臨技が主体」となって行いこととした。
４．理事派遣提案を承認した。
１）第１回　医療機器安全管理技術講習委員会：10 月 11 日（木）：町田

◇　事務局

５．９月の新入会員 115 名を承認した。
６．以下の各種依頼を承認した。
１）第 46 回宮崎県医学検査学会特別講演　講師依頼　：　小﨑
平成 19 年 11 月 25 日（日）：宮崎市
２）平成 19 年度第 15 回福島県臨床検査精度管理調査事業報告会　講師依頼　：　細萱
平成 19 年 12 月 16 日（日）：郡山市
３）国立病院臨床検査技師協会会報＜平成 20 年１月号＞　原稿依頼　：　小﨑
原稿締切：11 月１日
４）千葉県臨床検査技師会法人化 20 周年記念誌　原稿依頼　：小﨑
原稿締切：11 月中旬
５）医療の質・安全学会第２回学術集会　後援依頼
会期：平成 19 年 11 月 23 日（金・祝）～25 日（日）：東京フォーラム
７．諸会議開催提案を承認した。
１）　役員推薦委員会
◆　日　　程：12 月８日（土）14：00～
◆　場　　所：当会第２会議室

◆ 開催理由：平成 20・21 年理事候補者の審査　他
◆ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：750,000 円

◇　共済福利厚生部
ナシ

◇　財政経理部
ナシ

◇　組織制度部
８．中国地区より申請の「第２回中国地区連絡協議会」の開催を承認した。

◇　情報調査部
ナシ

◇　精度保障事業部
９．諸会議開催提案を承認した。
１）精度管理調査部会　血液 WG 会議
◆ 日　　程：11 月３日（土）15:00～21:00：４日（日）9:00～14:00
◆ 場　　所：防衛医科大学校病院　検査部
◆ 開催理由：平成 20 年度血液サーベイ原案作成
◆ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：300,000 円
２）検査値標準化 WG（第２回）
◆ 日　　程：11 月 10 日（土）13:00～15:00
◆ 場　　所：当会第１Ｂ会議室
◆ 開催理由：測定データの取りまとめ
◆ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：450,000 円
３）精度管理調査部会（第３回）
◆ 日　　程：平成 20 年２月９日（土）13:00～15:00
◆ 場　　所：当会第１Ｂ会議室
◆ 開催理由：平成 20 年度サーベイの検討
◆ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：550,000 円
10．理事派遣提案を承認した。
１）第４回日医臨床検査精度管理検討委員会小委員会：10 月 19 日（金）：細萱

◇　教育研修事業部
ナシ

◇　学会・出版事業部
11．「尿沈渣検査法　補遺」の絶版申請を承認した。
12．諸会議開催提案を承認した。
１）学会組織委員会（電子会議）
議題：１）第 59 回日本医学検査学会（平成 22 年）について
2) 図書発刊企画委員会
◆ 日　　程：10 月 13 日（土）14:00~16:00
◆ 場　　所：当会第３会議室
◆ 開催理由：会史の編集　他
◆ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：　0　円
13．理事派遣提案を承認した。
1) 平成 19 年 11 月 22 日（木）に札幌市で開催する第 57 回日本医学検査学会（北海道）の開会式等の打ち合わせに事務局で対応したい。

◇　認定事業部＜日臨技認定センター＞

14. 11 月 11 日（日）に実施する「認定心電検査技師　第１回試験」の試験員を、試験 WG 委員２名、及び、才藤副会長、金子専務理事、今村常務理事、高木理事、神山職員とすることを承認した。

※　受験者が 124 名となり、２会場にわけて行う都合上このような陣容になった追加説明があった。

※　日本心電学会へ入会している人は何名かとの質問が出された。

※　回答として７名の会員がおり、今回申し込まれたうち、すでに入会している者は 11 名、A 会員＜会誌送付有り＞入会を希望する者が 31 名、会誌なしの会員が 81 名となっているとの回答があった。

※　この認定ははたして施設が望んでいるものなのか＜?＞。メーカーでも有料で講習をしており 1 回に２～300 名が出ているという意見がだされた。

※　これについては、技師が望んでいるから 124 名が受験するのではないか。最初は、学会のほうから健康診断の際などに波形をとるだけで済ませているが急を要する患者もいる。そのため、資質を高め波形を判読するまでやって欲しいということで始めたわけである。施設にもそのような技師を認めて欲しい。認定は、検査技師はそこまでやっていないのかという話があったことにもよる。そのためにもスキルアップさせようということである。

15. 理事派遣提案を承認した。

１）第 6 回臨床試験と CRC に関する研修会：10 月 26 日(金)～28 日(日)：才藤副会長、高木理事

２）第７回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2007 in 横浜　第５回プログラム委員会：
平成 19 年 11 月中予定：今村、高木

３）CRC 連絡協議会世話人会：平成 20 年１月 25 日（金）：今村、高木

◇　人財育成事業部

ナシ

◇　国際事業部

17. 諸会議開催提案を承認した。

１）第 3 回 AAMLS 学会日臨技企画運営委員会

- ◆　日　　程：10 月 12 日（金）16：00～18：00
- ◆　場　　所：当会第３会議室
- ◆　開催理由：学会企画について
- ◆　概算予算：旅費交通費として（含行動費）：　50,000 円

2）第 3 回　国際事業推進企画委員会

- ◆　日　　程：10 月 13 日（土）12：00～12：40
- ◆　場　　所：当会第２会議室
- ◆　開催理由：今年度 JIMTEF 研修について
- ◆　概算予算：旅費交通費として（含行動費）：　0　円

◇　その他

※　JIMTEF 設立 20 周年記念式典への参加希望理事は、小﨑、金子、高田、五内川、蒲池、田中、下田、今村、前川、日野浦、小松であった。

Ⅴ．連絡事項等

Ⅵ．閉　会

◇　議事録署名人　◇

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印